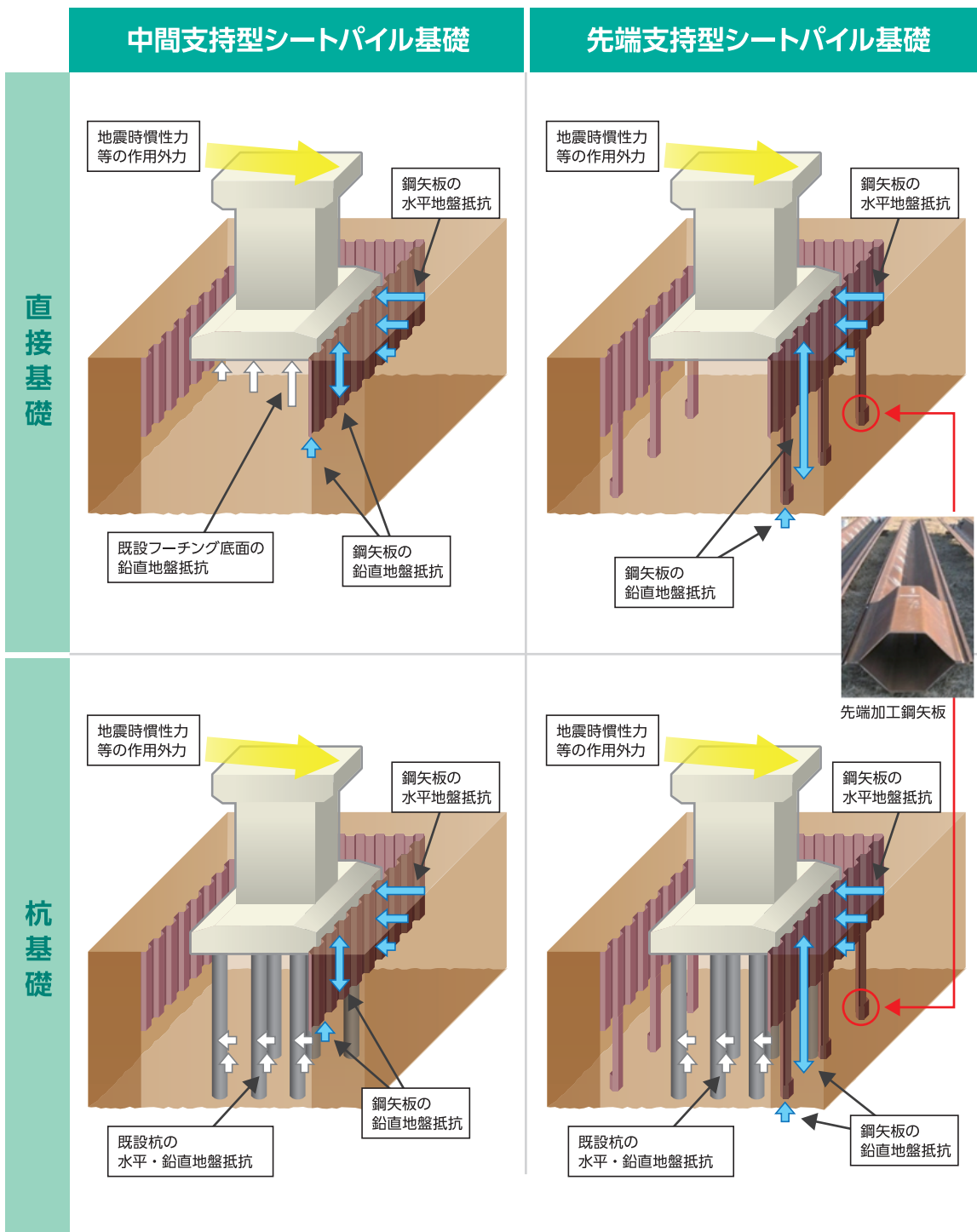


シートパイル基礎工法

構造物基礎のフーチング周囲に鋼矢板(シートパイル)を配置し、結合することで、耐震性・支持力性能を向上させる工法です。



構造形式



特徴

基礎新設の場合

- 仮設土留め用鋼矢板との兼用が可能で、経済的かつ短工期。

既設基礎補強の場合

- 増し杭等の従来工法よりも経済的。
- 杭打ち機等の大型機械が不要で、狭隘地での施工が可能。
- 既設構造への影響が少なく、供用中の施工が可能。
- 排土が少なく、環境負荷軽減にも貢献。

フーチングと鋼矢板の接合部

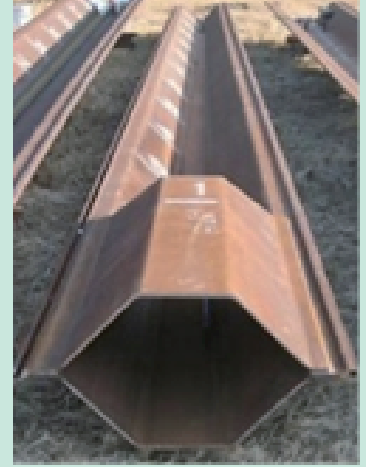


桁下での施工状況



先端加工鋼矢板

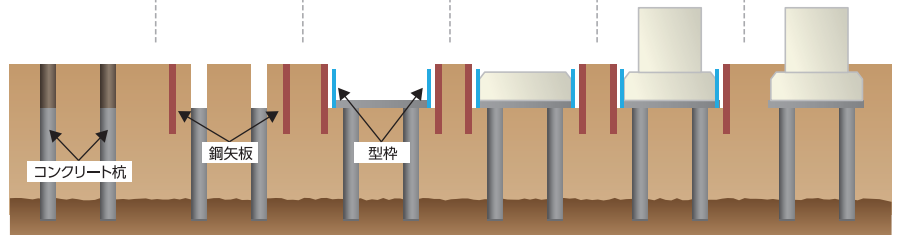
先端加工鋼矢板を使用することで、支持力向上が可能。



施工手順

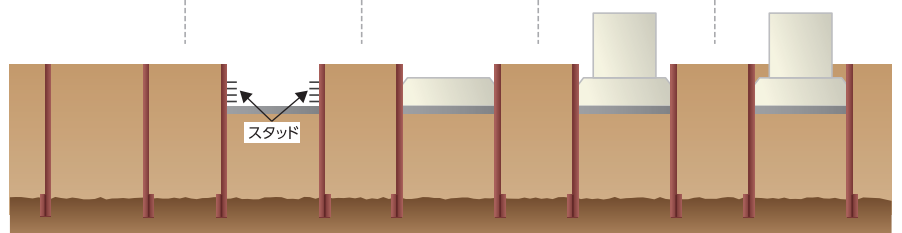
コンクリート杭基礎 施工手順

- ① ② ③ ④ ⑤ ⑥



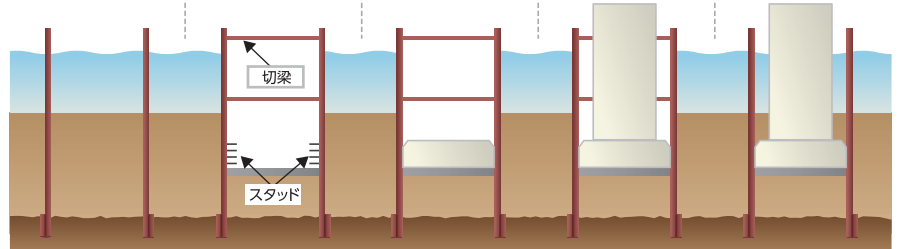
シートパイル基礎を 用いた基礎構造 施工手順

- ① ② ③ ④ ⑤ ⑥



河川における 仮締切兼用方式 施工手順

- ① ② ③ ④ ⑤ ⑥



日本製鉄株式会社

〒100-8071 東京都千代田区丸の内二丁目6番1号
Tel: 03-6867-6357

シートパイル基礎工法
K127_02_202209f